

the Heartful OAG

元気な企業をつくる

Vol.9
2006.1月号

OAGのビジョンとミッション

「ダントツ」にいい仕事をしよう!

太田・細川会計事務所 所長
太田アカウンティンググループ(OAG) 代表
太田孝昭

経営計画で会社の健康診断を

堀川雅史 株式会社CFO 取締役 税理士

ビジコムは、社員のモチベーションを向上し、
真に機能する内部統制の構築をサポートしています。

青野奈々子 株式会社ビジコム 取締役 第一事業部長 公認会計士

書籍のご案内

『わかりやすい経営計画の作り方
～キャッシュフロー経営を実践して“強い”会社になる～』

『会社員のための内部統制入門
小説で学ぶ現場からのリスクマネジメント』

『Q&A 土地評価の実務全書』

C O N T E N T S

02

太田孝昭が語る春夏秋冬

03

**OAGのビジョンとミッション
「ダントツ」にいい仕事をしよう!**

太田・細川会計事務所 所長
太田アカウンティンググループ(OAG)代表
太田孝昭

04

経営計画で会社の健康診断を

堀川雅史 株式会社CFO 取締役 税理士

05

**ビジコムは、社員のモチベーションを
向上し、真に機能する内部統制の構築
をサポートしています。**

青野奈々子 株式会社ビジコム 取締役
第一事業部長 公認会計士

06

書籍のご案内

- 『わかりやすい経営計画の作り方～キャッシュフロー経営を実践して“強い”会社になる～』
- 『会社員のための内部統制入門
小説で学ぶ現場からのリスクマネジメント』
- 『Q&A 土地評価の実務全書』

07

**薬学博士・岩井正憲先生に尋ねる
健康へのアドバイス**

第8回 健やかに美しく



太田孝昭
(太田アカウンティンググループ代表)

**太田孝昭が語る春夏秋冬
「ダントツ」を目指して**

あけましておめでとうございます。
2006年の目標はお決まりですか？

2006年、私たちOAGは、「ダントツ事務所」を目指します。これは、お客様にとって「ダントツ」になりたいということなのです。

「ダントツ事務所」になるための具体的な手法は、3つあります。まず、プロとして税務を徹底すること。税のリスクについて、よりの確にアドバイスし、ご相談に真摯に応えることを目指します。そしてお客様には、納得した上で納税していただきたいと思っております。

2つ目は、お客様(企業)の元気を引き出す強力なサポーターになることです。企業にとって大切なことは利益を上げることであり、そのための仕組みに欠かせないのが、「会計」というインフラです。私たちはサポーターとして、お客様の期待を超えて大満足いただけるサービスを提供していきます。

最後に、「透明会計」の推進です。「透明会計」とは、会計情報を社員にもオープンにすることです。といっても、公開すること自体が目的ではなく、元気な企業を作るためのひとつの手段であるとお考えください。社員の皆さんが自分の属する企業の会計情報を知ることは、

自己の存在を確認し、自身も経営に携わる一員と考えるようになり、会社を大きく活性化することにつながります。

「透明会計」の実効性を高めるには、社員が損益計算書(P/L)や貸借対照表(バランスシート)、キャッシュフロー計算書の意味を理解できるようにしなくてはなりません。「うちの社員には理解できないし、見せる必要もない」とおっしゃる方もいますが、それでは社員は責任も存在意義も感じることはできません。

経営者の社員に対する本音でよく聞かれる言葉があります。「なぜ社員は働かないのか」「文句が多い」「責任感が感じられない」「なぜ自分の思いが伝わらないのか」等々です。一方、社員にも言い分があります。「給料に見合った分は働いている」「自分には責任も権限もない」「社長に期待されていない」などです。

経営者と社員の関係を、同じ船に乗る船長と乗組員に置き換えてみてください。両者の気持ちがこれだけ違っていたら、無事な航海は難しいでしょう。航海を成功させるには、同じ船に乗る仲間として情報を共有して、全員が同じ目標に向かって協力しあわねければなりません。企業においてその共有すべき情報が、「透明会計」なのです。

OAGのビジョンとミッション 「ダントツ」にいい仕事をしよう!

太田・細川会計事務所 所長
太田アカウンティンググループ(OAG)代表
太田孝昭

2005年11月、太田アカウンティンググループ各社の全社員が初めて一堂に会し、「第1回OAGミーティング」を開催いたしました。グループ規模が大きくなった今、さらなる飛躍のために創業の誓いを再確認し、全社員の相互理解と相互信頼を深めることが目的でした。すべては、お客様の「大満足」のために。その成否が、OAGの未来を決めます。

全社員が「ダントツ」を目指し、「ダントツ」にいい仕事をする。お客様の心からの笑顔を目標に、OAGは今後も邁進してまいります。

継続・進化・成長!

1988年3月31日に税務署を退官するとき、絶対に明るい会計事務所を作ろうと誓いました。なぜなら、税務署員としてさまざまな会計事務所とお付き合いをしましたが、どこの事務所も非常に暗かったからです。

会計事務所働く人はきちんとした教育も受け、若くして「先生」と呼ばれます。それなのに、なぜ暗くなってしまうのか。その原因を考えたとき、先生と呼ばれることに一因があるのではないかと思ひ至りました。先生は、生徒に自分の知っていることしか教えません。生徒から学ぶことがなければ、自分が成長できるはずがないでしょう。さまざまな難問にぶつかりながら成長する、そんな事務所を作ろうと考えていました。

また、事務所の規模を大きくしなければ、いろいろなお客様とお付き合いすることができず、結果として成長に限界があるとも思っていました。個人の成長が事務所を成長させ、事務所の成長が個人を成長させるという好循環を継続的に生み出すことで、これまでにないオンリーワンの会計事務所に成長できると信じています。

ダントツを目指そう

スタートは、シルバーマンション新宿502号室。7坪のマンションでしたが、とても広く感じました。最初のお客様は、私の親類などを含め、4社ほど。ただ、そのお客様がお客様をご紹介していただけるという連鎖が続き、現在まで成長する礎となったのです。

当時から、会計事務所を作るなら「ダントツ」の事務所を作ろうと思ひました。何を持ってダントツというのか。それは、お客様がわれわれを「ダントツにいい」と認めてくださったときです。

先日、お話を聞いたグッドウィルグループ創業者の折口さんは、「1番を目指そう

と思った人の中から1番の人が生まれる。5番でいいと思った人の中には、絶対に一番になる人はいない」と言っていました。同じように、ダントツを目指したいと思ひなければ、絶対にダントツにはなれません。

私はダントツになりたい。その思いを皆さんに共有してほしいのです。会社に対して、ダントツになるためにこうしてほしいという要求もいいでしょう。ダントツに向かって意見が対立することは大歓迎です。

お客様の大満足のために

それぞれの人に、ダントツの意味があります。自分にとってのダントツとは何なのかを、考えてみてください。

ダントツになるには、自分の提供する能力が極めて高く、そしていい仕事をしなければなりません。その結果、お客様にダントツと評価していただけるのです。では、その評価を手に入れるには、何が必要でしょうか。私は、お客様に単なる満足でなく、大満足をご提供することが必要だと考えています。お客様の期待を大きく上回る満足が、大満足なのです。

お客様に直接接する社員だけでなく、社員をサポートするアシスタントも同じです。アシスタントにとっては、社員をお客様の立場に置き換えて考えてみてください。サポートを受けた社員は、アシスタントの協力の果実をどうやってお客様に伝えるのが大切になります。アシスタントと社員の関係がスムーズでなければ、お客様に大満足していただける仕事ができるわけがありません。

透明会計の伝道者たれ

ところで、皆さんはお客様の期待とは何なのかを真剣に探ったことがありますか。それを知らずして、お客様に大満足を提



供することは不可能です。

例えば、太田会計では税務と会計以外、評価をしていただけるポイントがありません。法人税部に対して、お客様は何を期待しているのかを考えると、単なる税金だけではないでしょう。税金だけなら、月次の報告書や部門別損益など考える必要はないからです。

もちろん税に強いことは当然ですが、考えるべきは会計の持つ力を正しくお伝えしたか、です。どのようにすれば利益を向上できるのか。会計には、利益向上に直結する大きな力があります。京セラを創業した稲盛さんは、「会計は羅針盤だ」と言っていました。

私は、戦略的な会計の方法を「透明会計」と名づけました。社員に会計を公開する、それが透明会計の大原則です。大企業は会計を非常に大切にしている、上場企業では常に公開されます。しかし、中小企業では会計に対する意識がまだ高いとはいえません。

零細企業では、会計を公開する必要などないという方がほとんどでしょう。しかし、企業を成長させたいと願うなら、会計を公開して社員の共有財産にすれば、本当に大きな力が生まれることを知るべきです。

会計を理解できない会社は、成長できないばかりか、消え去ることも十分にあり得ます。会計を業としている私たちは、会計の持つ力を徹底的に再認識する必要があるのです。

「アクティブ・ブレイン・セミナー」 のお知らせ

2月19日・26日に再度開講いたします

毎回大好評をいただいておりますアクティブ・ブレイン・セミナーを2月19日・26日の両日、左門イレブンビル6階の弊社セミナールームで開講いたします。お忙しい小田全宏先生に直接ご指導をいただけるまたとない機会です。ぜひ、ご活用いただき、皆様の人生をより豊かにする一助としていただければ幸いです。

■お問い合わせ先:

太田・細川会計事務所 山本
TEL.03-3352-7500
FAX.03-3356-1180

経営計画で会社の健康診断を

堀川雅史 株式会社CFO 取締役 税理士

社会が大きな変化を迎える中、キャッシュフロー経営への転換が急務となっています。それと同じように、経営者個人でも資産管理の必要性や事業承継などのリスクマネジメントの重要性が高まっています。税に関するご相談だけでは十分なサービスをご提供できないという思いから、私たちは経営支援の専門家集団・CFOを立ち上げました。

CFOという社名には、業務内容を象徴する次の3つのキーワードが隠されています。①「Chief Financial Officer (財務・経理の最高責任者)」として、企業と経営者の皆様に親身に支援しながら、②企業には「Cash Flow Optimization (キャッシュフローの最適化)」をサポートし、③個人には「Consultant of Financial Opportunity (金融機会のコンサルタント)」としてライフプランの組み立てやアドバイスをさせていただくというものです。

この3つの「CFO」を実現する上で必要不可欠なのが「計画」です。客観的なデータに基づいて長所や短所を洗い出し、現状を踏まえて将来のあるべき姿を描くことが大切です。しかし、こうした作業に熟達した企業や経営者は、極めて少数であることが現実です。そこで、私たちCFOが、経営計画や事業計画の作成をお手伝いし、実行管理まで全面的に支援してまいります。

典型的なマネジメントサイクルの一つにPDCAがあります。Plan(計画)、Do

(実行)、Check(点検)、Action(改善)のプロセスを順次実行し、最後の是正を次の計画に反映させ、らせん状に品質の維持・向上を図るという手法です。このP、D、C、Aという歯車の一つひとつを作り、回転を円滑に伝えていくために潤滑油を供給するお手伝いをするのがCFOの仕事です。

私はこれまでキャッシュフロー経営や経営計画について、税理士などプロフェッショナルの方々向けのセミナーで講師を多く務めてまいりました。しかし最近では、中堅・中小企業経営者の方々から受講のご要望が増えています。

こうしたニーズに応じて、経営者の方々向けに、『わかりやすい経営計画の作り方』を2005年11月1日、日経BP社から発刊いたしました。エクセルを使って経営計画を立案できるCDも付いています(詳しくは6ページの参考書籍情報をご覧ください)。

経営計画を作り、実行管理している企業はまだ少なく、障害が目の前に迫ってから慌てて対策を考えるケースが多く見られます。会社に体力があるうちに早めに取り組むほど、障害を乗り越えられる可能性が高くなります。定期的に健康診断を受け、病巣の早期発見と自分に適した健康管理メニューを作る人間ドックと同じように、企業にも健康診断と管理が必要であることをぜひご理解ください。



P.06で著書をご紹介します

社員紹介



根岸朋亮
株式会社CFO
シニアコンサルタント

休日は地域活動

仕事を理由に、地域活動への参加は少なかったのですが、最近は川の掃除などに参加する機会が増えてきました。特に、子どもが生まれてからは地域への関心が高まっています。最近、子どもたちが巻き込まれる事件が相次いでいますが、犯罪防止の観点からも地域への関心を持ち続けることは重要だと感じています。



和島勝幸
株式会社CFO
シニアコンサルタント

育成指導者になっちゃいました!

小学校1年生になった長男のサッカーチーム入りを機に、私もそのチームの“育成指導者”となりました。週末は親子で“サッカー漬け”です。サッカーは初心者ですが、フォーメーション指導などは結構評判が良かったです(テクニック指導は相手にされません)。2019年ワールドユース代表には教え子が1人以上いるはずですよ!

ビジコムは、社員のモチベーションを向上し、真に機能する内部統制の構築をサポートしています。

青野奈々子 株式会社ビジコム 取締役 第一事業部長 公認会計士

2005年11月に、『会社員のための内部統制入門 小説で学ぶ現場からのリスクマネジメント』を刊行いたしました。これは内部統制上のトラブル事例と解決策を、小説仕立てで紹介した社員教育用のテキストです（詳しくは6ページの参考書籍情報をご覧ください）。

私たちビジコムの仕事は内部統制の仕組み作りをお手伝いすることですが、「内部統制の重要性は理解できるのだが、現場で実行することは難しい」という声が多いことも事実です。それがテキストを書くきっかけにもなりました。

確かに日本的な企業文化では、同じ企業に勤める社員が、他の部署の非効率や不正を厳しく指摘することは、「和」を乱す行為として敬遠されがちです。しかし、先進的な欧米企業では、社内の監査チームの監査を受けることは利益率の向上に直結し、何よりも企業上層部の期待の表れであるとして、待ち望まれているのが現実です。

この日本と欧米先進企業の落差を埋め、日本企業の社内基盤を強化することが、ビジコムの使命であると考えています。具体的には、「会計」と「業務」の両面から、社員が自分の仕事にやりがいと責任を持てる仕組みをご提案し、企業の成長を促進する「内部管理業務改善」や「組織づくりの支援」を行っています。「会計は適正か」「業務に法令違反はないか」といった阻害要因をリスクとして把握し、

リスクとリターンの関係に配慮しながら、統制環境や統制手続き、モニタリング体制などを構築していきます。そのためには、稟議制度や権限規定、内部監査制度などが整備され、社員が準拠すべき指針がマニュアルとして文書化されていることが必要です。

内部統制の構築にあたって留意すべきポイントは、「仕組みの整備」と「監査」の間、それを受け止める「現場」があるということです。実際にお客様のところで実感するのは、一般社員の方々こそが内部統制について理解し、その構築に携わるべきだということです。現場を巻き込み、現場がルール目的を知り、考えて運用できるようにすることが、機能する内部統制への近道になります。

もう一つ重要なポイントは、社員の「やる気」です。「現場でのリスクマネジメントで、もっとも有効な手法は？」と聞かれれば、管理者としては「プロセスチェック」と答えがちですが、実際には「モチベーション管理」がいちばん大切です。社員がやりがいを感じて働いている職場では、不正は発生しません。

内部統制に対する経営者の構築責任、監査法人や監査役の監査責任は、新会社法をはじめとする法律上だけでなく、社会通念上も重くなる一方です。内部統制の強化は「不正防止」に役立つ一方、業務の非効率を発見し、利益を上げ、企業を成長させる大きな武器になります。



➡ P.06で著書をご紹介します



角川雅美
株式会社ビジコム
第一事業部 コンサルタント

同僚に触発されています

ももとはプログラマーをしていました。結婚・出産を経て営業事務、その後、ベンチャー企業で立ち上げから経験しました。今は、これまでとまったく違う環境で、仕事熱心な同僚に囲まれ、触発される毎日です。仕事をこなすだけでも学ぶことはたくさんありますが、それ以外にも地道に勉強するテーマが多く、身を引き締めています。



川田充
株式会社ビジコム
第一事業部 マネージャー
公認会計士

学生時代に公認会計士をめざしました

公認会計士の勉強を始めたのは、大学3年の終わりごろで、友人から影響を受けたことがきっかけです。資格を取得したのは、大学を卒業した年の夏でした。後にも先にもこれほど勉強したことはありませんね。初めに就職したのは、監査法人です。ビジコムへの転職は、テレビの占いをみてきめました。良い選択だったと思っています。

書籍のご案内

日経ベンチャーテキストブック 社長のための経営講座
『わかりやすい経営計画の作り方』
～キャッシュフロー経営を実践して
“強い”会社になる～



日経BP社
株式会社CFO取締役
税理士
堀川雅史／著
日経BP社の定期購読誌読者・
日経ベンチャー経営者クラブ会員
：7500円(税込)
一般価格：9000円(税込)

お問い合わせ先：
CFO (☎03-5312-6166)

経営計画の重要性は理解できても、どのように作成したらいいのか分からない…。多くの経営者に共通する悩みではないでしょうか。

そこで、経営計画の立案、実行管理、キャッシュフロー経営の考え方を解説したテキストを刊行しました。付属のCDには、さまざまな経営計画書の雛形を表計算ソフト・エクセル形式のシートでご用意しています。

最近では、金融機関が融資を検討する際に、精緻な経営計画の提示を求める傾向が強くなっています。本書をその基盤として、ご活用ください。

『会社員のための内部統制入門』
～小説で学ぶ現場からのリスクマネジメント～



第一法規
株式会社ビジコム取締役
第一事業部長
公認会計士
青野奈々子／著
2300円(税込)

お問い合わせ先：
ビジコム (☎03-3356-3500)

内部統制を構築しようとする際、専門家向けの書籍はあっても、「現場の社員が内容を理解するためのテキストがない」という声が多く聞かれます。本書は、近寄りやすい印象の強い内部統制について、手軽に読み切ってもらえるように配慮しています。

また、テキスト学習と同時に、「内部統制診断テスト」で現場における現状の組織風土を診断し、研修効果まで測定できる実効性ある社内研修プログラムとして活用していただくことができます。転ばぬ先の杖として、ぜひご利用ください。

『Q&A 土地評価の実務全書』
～判例・裁決例、評価通達等の検証と実務への応用～



ぎょうせい
太田・細川会計事務所／編
4900円(税込)

お問い合わせ先：
資産税部 (☎03-3356-9616)

土地の評価は、「10人に評価をさせると10通りの評価額が出てくる」と言われるほど難しい面があります。広大地、不整形地、セットバック、土壌汚染など、財産評価基本通達や課税当局からの情報だけでは判断に迷う事例が本当に多いものです。

そこで資産税のプロとして、これまでに手掛けてきた豊富な事例を基に、91のQ&Aによって具体的な評価手法を詳細に解説いたしました。実際の判例や裁決、通達の背景を踏まえた実務への応用など、土地評価にかかわる最新情報を織り込んだ決定版です。

社員紹介



関 綾子
法人税部

憧れの「女性税理士」

親類に女性の税理士がいて、子ども心に「格好いいなあ」と憧れていました。それが、税理士という職業との出会いであり、目指そうと思ったきっかけでもあります。当事務所の女性税理士たちも、私には憧れの的。自分の5年後、10年後の姿を先輩たちに投影させて、毎日、仕事と勉強に励んでいます！



出来恵美子
国際税務部

お客様と会社を支えていきたい

前職はSEでしたが、働き続けられる仕事を目指そうと考えて、税理士の道を選びました。まだ勉強を始めたばかりで、お客様に教えていただくことも多いですが、それが「もっと勉強しなければ」というエネルギーにもなっています。お客様と会社の成長を陰ながら支える存在になりたいと思います。



杉村麻衣
マネジメント・ソリューション部

商社で働いてきました

学生時代から税理士を目指していました。お客様とお話するには世の中の仕組みを知ることが先決だと思い、商社に入社しました。ものの流れや企業社会の仕組みについて学ぶことができ、その経験をこれからの仕事に生かしたいと考えています。人間力が資本というところが、商社と会計事務所の意外な共通点ですね。



齋藤彩子
法人税部

仕事と勉強の毎日です

税理士資格を取得するために、「職場→学校→自宅で勉強」という日々で、趣味の時間をなかなか作れません。以前はお料理教室に通って、お菓子作りがとても楽しかった思い出があります。今は食べる方専門ですが、せっかく学んだのですから、息抜きに少しでもお菓子を作る時間を見つけて、生活にメリハリをつけたいと思います。

第8回 健やかに美しく

いよいよ今回が最終回となりました。薬学、特に漢方を中心とした天然物の品質評価の研究を専門にまいりました関係で、西洋医学よりも東洋医学的な考えをベースに食事と健康についてお話をさせていただきました。最終回では、生薬学の専門家からみた「健やかに美しく」についてお話ししたいと思います。

■ 食生活は基本が大切

昭和から平成の世の中になり、人々の生活の快適さには眼を見張るものがあります。特に戦争を体験された方なら、モノを大切に作る時代からモノを使い捨てる時代への流れに危惧を感じられている方も多いのではないのでしょうか。

食生活の発展はインスタント食品に代表されるように、ほとんどの食べ物が簡単に手に入る便利な時代となりました。飽食の時代とも言われるように、流通が発達したお陰で、世界各地の食べ物も旅行せずに食べることができるようになりましたが、すでにお話ししてきましたように、気候風土の違う食べ物を好む習慣は、実は身体にとってはあまり自然なことではありません。人々が求める快適な生活を続けることは、かえって五感を刺激する場面を少なくさせ、身体本来に備わった機能さえも使うことが難しい状況に陥らせ、トレーニングジムやスイミングなどに通わなければならない事態を招いているのではないのでしょうか。

東洋医学の考え方では、年齢相応に身体を動かすことが健康の秘訣であることもお話ししてまいりました。ジムなどで



身体を鍛える目的は、人それぞれに違うとはいえ、身体を動かす大切さは、正常な身体の機能を保つホメオスタシス（体の恒常性）の活性化につながります。日ごろから「身体を使う、頭を使う、楽しみを持つ」など、人間本来の五感を使う場面を一つでも多く取り入れることを心掛けて下さい。「健やかに美しく」とは、その人自身が持ち得る能力を惜しみなく発揮されてこそ実現できるのです。

■ 健やかに美しく

大学院時代にネパールを調査中、ヒマラヤの雪山を望みながら「ひとりの人間の欲望を満たすには、ヒマラヤの雪山を金に変えてもまだ足りない」との例え話を思い出し、自然の中で人間が生かされ、自分なりのサイズを知ること大切だと感じた時がありました。「腹八分目」の言葉通り、食事を含めてお酒も運動も「余

韻を楽しむ余裕」を持つことも大切ではないのでしょうか。仕事も遊びも、明日への楽しみを持ち続けることこそが、若さを保つ秘訣であり、健康を実感し、幸福感も得られ、「健やかに美しく」が実現されることをお約束してお話を終わります。長い間、お付き合いいただきありがとうございました。



岩井正憲氏

1963年大阪市生まれ。大阪薬科大学薬学部卒業後、富山医科薬科大学大学院に進み、薬学博士号を取得。テレビ・新聞・雑誌等で漢方薬の解説を行う一方、各地の有名ホテルで漢方に関するセミナーを開催。現在、全国のホテルニューオータニ「Taikan-En」にて「好菜(ハオツァイ)」を総合プロデュース。

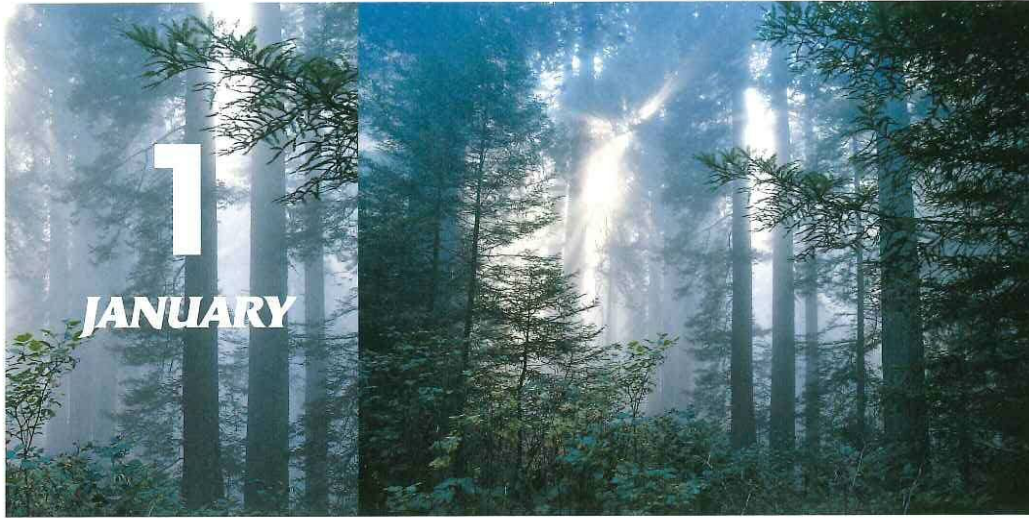
< 編集後記 >

明けましておめでとうございます。今年は戌年、ドッグイヤーで年をとるのかもしれませんが、スローライフ、スローフードで生活を見直してみるのがいいでしょうか？1日24時間、1年365日。日々悔いなく過ごそうと元日に誓っても、トリノ五輪までか、いやいやドイツワールドカップまで続くのか・・・継続は難しいものです。ウォームビズを实践するには厳しい寒さが続き、新型インフルエンザの発生も危惧されますが、皆様におかれましては、健やかなる1年になりますようご祈念申し上げます。今年も本紙およびOAGをよろしく願い申し上げます。(ま)

発行 太田・細川会計事務所 / (株)シーケーシステム研究所
(株)CFO / (株)経理秘書 / (株)ビジコム / (株)福祉総研
東京都新宿区左門町3番地 左門イレブンビル5階
tel.03-3352-7500 / fax.03-3356-1180

発行人 太田 孝昭
編集人 松本 真一

2006 Calendar



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 元日 省エネルギーの日	2 友引 振替休日	3	4 御用始め 取引所大発会	5 大安 小寒 囲碁の日	6 消防出初め式	7 七草
8 友引	9 成人の日	10 12月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付期限 110番の日	11 大安 鏡開き	12 スキー記念日	13 たばこの日	14 友引
15 小正月 警視庁創設記念日	16	17 大安 土用	18 都バス記念日	19	20 友引 大寒	21
22	23 大安 電子メールの日	24 法律扶助の日 郵便制度施行記念日 ボーイスカウト創立記念日	25	26 友引 文化財防火隊 有料駐車場の日	27 国旗制定記念日	28
29 人口調査記念日	30 友引	31 生命保険の日	11月決算法人の確定申告 2月、5月、8月、11月決算法人の3か月ごとの期間短縮に係る確定申告 法人・個人事業者の1か月ごとの期間短縮に係る確定申告 5月決算法人の中間申告 消費税の年税額が400万円超の2月、5月、8月決算法人の3か月ごとの中間申告 消費税の年税額が4,800万円超の11月決算法人を除く法人の1か月ごとの中間申告 給与所得者の扶養控除等申告書の提出 支払調書の提出 固定資産税の償却資産に関する申告 給与支払報告書の提出			

個人の道府県民・市町村民税の納付(第4期分)……1月中において市町村の条例で定める日